

# 農作物技術情報 第7号 果樹

発行日 令和8年9月24日  
発行 岩手県、岩手県農作物気象災害防止対策本部  
編集 岩手県農林水産部農業普及技術課 農業革新支援担当（電話 0197-68-4435）

携帯電話用  
二次元コード



「いわてアグリベンチャーネット」からご覧になれます  
パソコン、携帯電話から「<https://www.pref.iwate.jp/agri/i-agri/>」

- ◆ りんご 向こう1か月の気温も高い予報であることから、過度に着色を期待せず食味を重視し、すぐりもぎを徹底しましょう。なお、10月は台風が襲来しやすいため、気象情報に注意し、事前事後対策を徹底します。

## 1 生育概況

9月1日時点の生育診断ほの果実生育（横径、県平均）は、「ジョナゴールド」が平年比101%、前年比105%、「ふじ」が平年比108%、前年比109%です（表1）。開花が平年より8日程度早く、6月以降8月まで平年並以上の降水量があったことから、現時点の生育は平年及び前年をやや上回っています。

なお、向こう1か月の平均気温は平年より高い見通しであり（9/17、仙台管区气象台発表）、果実は、果肉先行となる可能性があります。収穫に向けては、引き続き、最新の気象情報と各農業改良普及センターやJA等が提示する情報を確認し、適期収穫に努めるとともに、過度に着色を期待せず食味を重視し、採り遅れないようにしてください。

表1 生育診断ほにおける果実生育（横径）状況（9月1日現在）

単位:mm

| 市町村         | ジョナゴールド    |      |      |            |      | ふじ         |      |      |            |      |
|-------------|------------|------|------|------------|------|------------|------|------|------------|------|
|             | 本年<br>(R8) | 平年   | 比    | 前年<br>(R7) | 比    | 本年<br>(R8) | 平年   | 比    | 前年<br>(R7) | 比    |
| 岩手県農業研究センター | 86.0       | 84.8 | 101% | 85.8       | 100% | 78.5       | 78.7 | 100% | 77.4       | 101% |
| 盛岡市三ツ割      | 84.3       | 83.1 | 101% | 79.7       | 106% | 81.2       | 76.9 | 106% | 70.7       | 115% |
| 花巻市石鳥谷※2    | 83.7       | 83.5 | 100% | 80.1       | 104% | 82.8       | 76.1 | 109% | 76.4       | 108% |
| 奥州市江刺樽輪     | 76.6       | 79.4 | 96%  | 69.3       | 111% | 80.7       | 75.9 | 106% | 68.5       | 118% |
| 一関市狐禅寺※3    | 85.0       | 83.5 | 102% | 82.3       | 103% | 79.4       | 75.6 | 105% | 75.9       | 105% |
| 陸前高田市米崎     | 82.7       | 83.3 | 99%  | 82.5       | 100% | 88.7       | 77.1 | 115% | 78.8       | 113% |
| 宮古市崎山       | -          | -    | -    | -          | -    | 88.7       | 79.7 | 111% | 84.3       | 105% |
| 二戸市金田一      | 87.3       | 83.8 | 104% | 80.9       | 108% | 83.4       | 79.2 | 105% | 81.2       | 103% |
| 県平均値※1(参考)  | 83.3       | 82.8 | 101% | 79.1       | 105% | 83.6       | 77.2 | 108% | 76.5       | 109% |

※1 県平均値に農研センターのデータは含まれていない。

※2 R4年度より定点が変更となったため、平年値は花巻市上根子(前定点)の値を使用。

※3 R2年度より定点が変更となったため、平年値は一関市花泉(前定点)の値を使用。

※4 平年値は昭和60年～令和7年の平均  
(地点変更時はその年次からの平均)

## 2 栽培管理のポイント

### (1) 中生種の管理

ア 「ジョナゴールド」などの着色管理は、1回目の軽い葉摘み終了後、陽光面の着色が進んでから、葉かげや枝かげをつくらないように収穫まで玉回しを2～3回行います。玉回しと同時に適当な強さに葉を摘みます。

イ 着色の適温は10～20℃です。気温の高い日が続くと、必要以上に葉摘みをしていても着色は進まないの、過度の葉摘みとならないよう注意します。

ウ 「ジョナゴールド」は着色が不揃いになりやすいので、すぐりもぎが必要です。そのため、

着色の進みに応じて葉摘みを行い、玉まわしは、すぐりもぎの時にも行う等、回数をできるだけ多くすることが重要です。

エ 「ジョナゴールド」は収穫が遅れると果肉の軟化、果皮の油上りが発生して、販売上不利になりますので、適期収穫を心がけてください（表2）。

オ 夏秋期が高温となる年は、収穫前落果が助長されることがあります。過去に収穫前落果が発生した品種は、落果防止剤の散布を検討し、品種・園地ごとの発生実態を把握したうえで、散布の可否を判断します。

なお、落果防止剤の散布により、収穫期の前進化や果実硬度の低下が想定されるため、使用の判断にあたっては、集出荷・販売の対応も併せて検討してください。

表2 中生・晩生種の収穫期における果実品質の目安

| 品種      | 硬度<br>(lbs) | 糖度<br>(%) | ヨード<br>でんぶん<br>反応指数 | 備考           |
|---------|-------------|-----------|---------------------|--------------|
| ジョナゴールド | 13以上        | 13以上      | 2～3                 |              |
| 王 林     | 14以上        | 14以上      | -                   |              |
| シナノゴールド | 15程度        | 15以上      | 1以上<br>1以下          | 越年販売<br>年内販売 |
| ふ じ     | 14以上        | 14以上      | 1～2                 |              |

## (2) 「ふじ」の管理

ア 「ふじ」は、着色期間が 30～40 日間と長いため、陽光面が着色してきた頃（9 月下～10 月上旬）と、10 月中～下旬の 2 回に分けて葉摘みを行います。1 回目の葉摘みは、果実に密着する葉を摘む程度とし、2 回目は適当な強さまで葉を摘み、陽光面の着色が進んできたら葉かげや枝かげをつくらぬよう玉回しを行います。

イ 過度の葉摘みは、葉が少なくなると果実の着色やみつ入りが劣り、翌年の花芽の充実が悪くなるなどマイナスの影響が出るので注意してください（表3）。

表3 ふじの摘葉が果実品質に及ぼす影響

（青森りんご試 S61）

| 処理区分   | 果周増加量 (mm) | 糖度 (%) | 蜜の発生 (%) | 表面色 | 翌年の開花率 (%) |
|--------|------------|--------|----------|-----|------------|
| 全葉の摘葉  | 0.74       | 13.6   | 0        | 3   | 25.0       |
| 新梢葉摘葉  | 3.60       | 14.5   | 31       | 3   | 58.4       |
| 果そう葉摘葉 | 6.85       | 14.9   | 77       | 4   | 65.1       |
| 無摘葉    | 7.40       | 14.9   | 86       | 4   | 66.6       |

（摘要）摘葉処理は10月3日～10日に行った。果周増加は10月11日～11月11日までの分。

## (3) 「シナノゴールド」の収穫

ア 年内販売の場合は、表2の収穫時期を目安に、果面にワックスが感じられるようになったら収穫してください。デンプン指数の目安は1以下です。

イ 越年販売の場合は、デンプンが若干残っている状態で収穫することで、収穫後約4ヶ月の貯蔵が可能となります。ただし、早く収穫するとやけ病が多くなり、遅く収穫すると貯蔵して4～5ヶ月ころから内部褐変が見られる場合がありますので、注意してください。

## (4) お礼肥の施用

樹の衰弱がみられる場合には、早生・中生種は9月下旬以降、晩生種は10月中下旬以降からそれぞれ落葉までに施肥を実施します。施肥量は、成木で多くても10a当たり窒素成分5kgを目安としてください。

## (5) 病虫害防除

黒星病や褐斑病の発病葉は、翌年の伝染源となるため、葉摘み作業等の際に見つけ次第摘み取り、黒星病の罹病果も含め土中に埋没させるか焼却するなどして処分してください。また、炭疽病や輪紋病など果実腐敗性の病害についても、発病した果実は樹上に残さず、見つけ次第処分します。

### 3 気象災害対策

#### (1) 台風対策

強風で倒木が発生しないよう、防風ネットの設置、支柱との結束を確認してください。また、気象情報に注意し、場合によっては台風の接近前に収穫可能な品種は収穫を進めるなど、被害を最小限にする対策を講じます。

なお、詳細は、令和8年9月17日発行の「農作物技術情報特別号 台風対策」も参照してください。

#### (2) 湿害対策

台風に伴う大雨や秋の長雨など、園地内の過湿は、裂果や根部の障害による樹勢衰弱の要因となります。園地内に水が停滞しないよう、溝を切るなど排水対策を実施します。

## ツキノワグマの出没に関する警報

県は、ツキノワグマの出没に関する一層の注意を促し、更なる被害の防止を図るため、県内全域に「ツキノワグマの出没に関する警報」を発表します。県民の皆さんにはツキノワグマの被害を防止するため、一層の注意をお願いします。

<https://www.pref.iwate.jp/kurashikankyou/shizen/yasei/1049881/1043255.html>

- 1 クマに遭遇しないために
  - ・ 事前に入山地域の出没情報や被害情報を確認する。
  - ・ 音の鳴るグッズを常に鳴らして存在をアピール
- 2 クマを寄せ付けない
  - ・ 食べ残し等、エサになるものを放置しない
  - ・ 農地周辺のやぶを刈り払い、見通しの良い環境を整備する。
- 3 出会ったときの行動
  - ・ 背を向けて走って逃げない
  - ・ 目を離さず静かにゆっくり後ずさる
- 4 襲われそうになったら...
  - ・ クマが攻撃してきたら両腕で顔や頭をカバーし地面に伏せて防御する

次号は10月29日（木）発行の予定です。気象や作物の生育状況により号外を発行することがあります。発行時点での最新情報に基づいて作成しております。発行日を確認のうえ、必ず最新情報をご利用下さい。

**9月15日～11月15日は  
秋の農作業安全月間です**

**「これくらい…」 少しの油断が事故  
のもと 初心忘れず安全作業**

農業普及技術課農業革新支援担当は、農業改良普及センターを通じて農業者に対する支援活動を展開しています。